



# WE, JOKERS

英語のジョークを楽しむ会会報

No.29 February 10, 2012

- ジョークの心得三か条:
1. ジョークは心のゆとりであり、人生の潤滑油です。
  2. ジョークで言語の壁に挑むのは知的快感です。
  3. ジョークは簡潔が至上です。

## ジョークと私

## Joke makes daily life spicy.

相原 悦夫



英国の劇作家バーナード・ショーが、当時首相のウィンストン・チャーチルに上演中の舞台劇の招待状を送った。いわく、“It would be my honour

if you would show up together with your friend, if any.”チャーチル首相答えていわく、“I would be delighted to come, if it still runs.”本当にこのような交信があっか否か不明ですが、有名な二人の英国人のやり取りから、二人が至極親しい間柄だったことが類推できる小生の好きなジョークのひとつです。

英国商社に長年勤務したお陰で、英国人のジョークに触れる様々な機会に恵まれた事は正に幸運でした。古い話になりますが、イギリスとアルゼンチンの間でフォークランド紛争が起きた時、たまたま英国からの来訪者がありました。「戦争なんかしないでサッカーで勝負したらどうか？」と彼に聞いたところ、「それこそ戦争になる!!」ということでした。

今でも日常の交友を通じて収集したジョーク・コレクションは充実の度を高め、様々な機会に同好の士に開陳しています。中でも艶ネタに傾斜の度が高まり、1、2行の短いジョークからA4版一枚の小話（short story）に至るまで、当該分野で珠玉の名作（？）が列をなし、楽しい限りです。それらの中から一つをご紹介します。

お題は **Chicken Farmer**。

A chicken farmer went in a local bar and sat next to a woman. He ordered a glass of champagne. The woman perked up and says, “How

about that? I just ordered a glass of champagne too!” “What a coincidence,” the farmer says, “This is a special day for me, I am celebrating.” “This is a special day to me too, I’m also celebrating!” says the woman. “What a coincidence,” says the man. As they clinked glasses the farmer asked. “What are you celebrating?” “My husband and I have been trying to have a child and today my gynecologist told me that I’m pregnant!” says the woman. “What a coincidence,” says the man. “I’m a chicken farmer and for years all my hens were infertile, but today they’re finally laying fertilized eggs.” “That’s great!” says the woman, “How did your chicken become fertile?” “I used a different cock.” He replied... The woman smiled and said, “What a coincidence!!”

笑いのネタは、五感を使って眺めると日常生活の中に沢山ありますが、笑いは個人の関心や嗜好により受け取り方が異なるので、自分にとって面白いと思っても、他人が聞いたら「どこが面白いの？」ということがあります。小生はテニス愛好家なので、新しいネタを仕入れたときはクラブで数名を相手に話をして、どれ程受けたかで、判定しています。

また、艶ネタに関しては、その場の顔ぶれにより、艶度（レベル1～3）の選択が必要で、これを間違えると戦力外通告をされる破目に遭います。こうして様々な機会に自分の周囲半径2メートル以内が笑いに包まれる日を目指して日夜奮闘中です。

## 第 28 回研究発表会

## ジョーク・コンテスト観戦記

花岡 蔚MC

発表会後のティータイムでくつろぎ、いざ地下鉄に向かおうとした矢先、カフェ出口で「観戦記もよろしく」と幹事から突然のご指名を受け、当日はMCに精魂使い果たし観戦のゆとりなど全く無かった私は真っ青。

先だって以来、応募作品の長さを30語に限ったこともあって作品紹介の際、比較的簡単に笑いの壺はわかるだろうと悠長に考えていましたが、どっこい、要深読み箇所を会員諸兄から都度、指摘され英語ジョークの奥深さを改めて思い知らされました。

会場のレイアウトもあり、今回は会員諸氏の背後からプロジェクター・スクリーンを一緒に見ながら、会を進行させてもらいました。

今回も多数の応募があり其々かなりの出来栄えの作品ばかりの中、「さて、どこが壺かな？」から始まり「何のそれしき」「さすが！」「うまい！」などなど、「人の背中は真実を語る」と誰が言ったか言わなかったか知りませんが、MCの私としては会員諸氏の裏情{背中なので表情でなく}を垣間見させてもらいました。

トップバッターの作品は堅物が売りの豊田会員の艶笑もの。銀婚式に互いに、相手の墓碑をプレゼント交換した夫婦の話。夫婦それぞれの本音が墓碑に刻まれていたというものです。

妻の墓碑には、Here lies my wife, cold as usual.

夫の墓碑には、Here lies my husband, stiff at last. Stiffとは:堅苦しくなった? 死後硬直? としか思い浮かばない真面目居士【私自身の事】には理解不能でしたが、なぜか参加会員全員から局部硬直、と示唆され、奥方の積年の恨み辛みとようやく笑えた始末。素早い理解力の持ち主全員の約6割の得票を得て最優秀賞に輝きました。

ホットニュース的なジョークでは、岡田会員のアップル会長死去関連ジョークが注目を浴びました。オバマ大統領が次期大統領選挙での投票を失業者に呼び掛けたというもの。後半のSteve Jobs氏の有名な大学生向けの演説の引用にはすぐ気付きましたが、前半にWe lost Mr. Jobsまで念入りに埋め込ま

れていたとはちょっと気付きませんでした。

栄えある2位には小池会員の作品、チャーチル首相と彼の天敵だった女性議員Lady Astorの掛け合いジョークが入選。

Lady AstorとWinston Churchillの間で交わされたという何と息詰まるような舌戦、さすがはwitに富むChurchillらしい応戦ぶりですが、この会話が実話かたまたまた創作か、素直でない会員の間でしばし揉めていました。

3位は3作品同数の投票でしたが、語数の多い作品が優先するという当会の規約により、土屋会員の作品が入選しました。

神と人間の会話ですが、人間の思惑と神にとっての時間・金銭感覚は桁が違うという行き違いの面白さ。まごまごすると、俗世間の人間は神様から1ペンス貰うのに100万年かかるかも???

このほか同数得票作品は以下の2作品でしたが、土屋作品が語数30語丁度とくときは、30語未満の以下2作品はかないません。

「クリスチャンがお祈りの最後にAmen【a men】を唱えるは讚美歌Hymns【him】を歌うが如し」の長谷川作品、Hymnの発音が正しく出来ないと落ちにもならないというかなり英語力レベルの高さが求められるジョークと、相原会員の「3人の子持ちの離婚訴訟にまつわる親権問題の公平な裁き」も相変わらず高い評価を受けていました。結婚生活は破綻していても夫婦生活はno problemと言う落ちが、いかにも応募者らしいと、引き続き高い艶ものチャンピオンの人気を見せつけていました。

MC自身の本会初応募作品は、「元ハリウッド二流俳優大統領とエール大学寄付コネ入学の大統領」を智能指数の高いブロンド嬢に擬してのブロンドジョークの応用作品でしたが、結果は残念ながら、瞬く間の「Gone with the wind——無得票」に終わりました。Beginner's luckにも見放されたとは残念無念。つくづく人の悪口を言うものではない、と実感させられた初挑戦と相なりました。

宮本会長の天候不順?による参加断念など色々突発事故もありましたが、当日は天気のおぼつかない中、多数の会員の参加と助力をいただき、おかげさまで何とか楽しくバトルを終えることが出来ました。多謝



## 第 28 回研究発表会

### ジョーク拾いは英字新聞から

～けさも思わず笑い読み～

草野 淳



毎朝 International Herald Tribune を読むのが定年後の私の日課になっている。長年の新聞記者生活で国際報道にたずさわっていた未練が断ち切れなためだろうか。それにしても毎日欠かさず英字紙を読むには、かなりの意志力とエネルギーを要するものだが、そうしているうちに人生のささやかな楽しみを発見した。日本の新聞とは違

って様々な記事の中に、思わず笑ってしまうジョークやセンスのきいたユーモアを拾い出すことがあるからだ。

そこで今回は、ここ 1,2 年拾い集めた「ニュースの中の笑い」を私なりに厳選し取り上げてみた。作り上げられた小話より、実話版ジョークは、はるかに生き生きしている。

★ある日のコラム：ハーバード大学の講演でゴルバチョフ（元ソ連大統領）に学生が質問した。「もしケネディでなくソ連のフルシチョフが暗殺されたら歴史はどう変わっていたでしょうか」

しばし考え込んでいたゴルバチョフ、おもむろにこう答えた。「オナシスはフルシチョフ夫人とは結婚しなかったろう…」

★ソウルでの韓仏首脳会談。サルコジが「李明博さん、お会いするたびにますます若々しくて」と語りかけると、李明博はすかさず「フランス製の化粧品を愛用してますから」と見事なジョーク力。

★話題をにぎわしたのは、ベルルスコーニ（財政危機問題で辞任したイタリアの首相）。その言動たるや、パーティーの席で若い女性達に「私が独身

だったら君とすぐ結婚するのに」とアタック。

会議場でも、のっけから最前列の女性の脚をほめちぎる。ミラノでの記者会見で “It’s better to be passionate about beautiful women than gay.”（ゲイより綺麗な女性に熱をあげる方がまし）と言っただけのけるなど、徹底した”好色讃歌”は痛快でもある。

★中東で民主化のうねり “ジャスミン革命” が起こったため、中国指導部は北京の街の花売りにジャスミンの販売禁止令を出し、またジャスミンの花を買おうとした市民がいたら、当局に通報するように申し渡した、というこれはむしろ “笑えない” 北京発のレポート。

★ある日、サンフランシスコの新聞に載った記事：「ケイタイで話しながら車を運転していた女性が、iPod を聞きながら道路を横断したジョギング中の男性をもうちょっとでひきそうになった」 ネット中毒の世もここに極まれり。

★雑誌「プレイボーイ」の創設者ヘフナー老も今や補聴器と杖に頼る身。それでもまだバイアグラで奮い立たせ、24 歳の彼女を愛人にして、「教え子と教師＝セックス指南のことか？＝の仲はオツなもんじゃよ (“There is something wonderful in the student-teacher relationship.”) とうそぶく。

★女子大生時代のバイト体験を綴ったコラムエッセイ：I worked in a drug store, and when a man came in and requested a box of condoms I asked him, “What size?” He walked out before I could explain that I meant to clarify whether he wanted a box of three or a dozen.

困惑した男の顔が浮かぶようだ。

★才多くしてその死を惜まれたアップルのスティーブ・ジョブズは “Death is very likely the single best invention of life” と考えさせられる名言を残した。その彼も親友だった医者に「オレに子供がいるってのは、自分が成し遂げたどんなものより 1 万倍も素晴らしいことだぜ」と心情を吐露したことがあったという。コンピューター天才にして、そんな温か味のあるユーモアも、と微笑みたくなるような話ではないか。

## 犬と妻はどちらが可愛い？

宮本 倫好



先日ニューヨークの友人が、犬と奥さんを比べたジョークを送ってくれました。「うっかり他の犬の名前で間違えて呼んでも、犬は気にしない」というのがあります。確かにかの国の奥さんなら、

愛人の名前などで呼びかけられたりすると、離婚原因にしかねません。

「犬はあなたを夜中に起こし、『私が死んだら、次の相手をすぐ選ぶ？』などと聞いたりしない」というのも面白い。まだ情熱が残っていて妻が上玉であったりすると、男だって『オレが死んだら、どんな男と再婚するんだ』なんて、アホらしい妄想をつぶやくかも。しかし大方の男性は、わざわざ口にしない程度に冷めているし、次回のチャンスに期待する度合いも強いので、眠りを妨げることのない愛犬を、より好ましく思うのでしょう。

「妻と愛犬を一時間ガレージに閉じ込めた後解放して見よ。どちらがあなたを見て本当に喜ぶか」。妻なら間違いなく泣きわめくか、あなたを張り飛ばすかですが、愛犬はただただ擦り寄って、舐め舐めしてくれる。亭主の人情として、犬はやはり数倍可愛いはずだ、とアメリカ人男性は判定するのでしょうか。我が日の本ではこんなジョークは余りお目にかかりませんが、それだけ男性の地位がまだ安定しているのでしょうか。

## どうぞよろしく = 新入会員ご紹介 =

中嶋秀隆さん (茨城県つくば市)

### ① [私にとってジョークとは]

日常を楽しく暮らす糧であるとともに、仕事や人生の難局を乗り切るうえで必要不可欠なものであると思います。

### ② [私のお気に入りジョーク]

Q: What is the difference between wine and men?

A: Wine matures.

## 第29回研究発表会と新年会のご案内

会員各位のご参加をお待ちします。まだ会員になっておられない方もどうぞ。

- 日時：2012年1月15日(土)午後2時-5時
- 会場：平河町 Mercury Room  
(クオリティ(株) 6階会議室)  
(東京都千代田区平河町 1-4-5 平和第一ビル)
- 交通：地下鉄・有楽町線麴町駅 1番出口より徒歩2分。地図は、  
<http://www.quality.co.jp/> どうぞ。
- プログラム
  - ① 第11回ジョーク・コンテスト  
司会=深澤満穂 会員
  - ② 新年懇親会(飲み物・ご馳走つき)  
司会=安藤雅彦 会員
- 参加費：会員・非会員とも 2,000円。
- 問合せ先：[renraku@eigojoker.com](mailto:renraku@eigojoker.com)

## 第11回ジョーク・コンテスト出題作品募集

- 要領：
  1. 出題は、お一人一題とします。
  2. 長さは、一題 30 WORDS 以内 とします。
  3. 必要と思われる場合には、「笑いのツボ」やイラスト・写真などを添付してください。
  4. 当日出席できない方も、応募できます。
  5. コンテストは、1月21日(土) 午後5時、研究発表会で行われます。(司会=深澤満穂会員。)
  6. 結果は、*We, Jokers* No.29 Joke Contest Supplement 紙上でも発表されます。
- 宛先：[mmsagawa403@s6.dion.ne.jp](mailto:mmsagawa403@s6.dion.ne.jp)
- 締め切り：2012年1月9日(月・祝日)

## WE, JOKERS 英語のジョークを楽しむ会会報 第29号

発行日：2012年2月10日

発行人：世話人代表 宮本倫好

編集人：佐川光徳

発行所：英語のジョークを楽しむ会

〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-4-5 平和第一ビル

クオリティ株式会社 気付

TEL:03-5275-6121, FAX:03-5275-6130

問合せ先：[renraku@eigojoker.com](mailto:renraku@eigojoker.com)